

授業 コード	10805	科目名	ハングル・コリア文化(1)	担当者		朴 基栄				
	10807	副題	小旅行気分でハングルの	開講期	前期	単位数	1	DP対応	3,S1,K4	
【授業概要】										
初めて韓国語を学ぶ学生を対象とした内容です。さまざまな形で韓国語と韓国の生活文化に触れながら基礎的な文法、日常会話などの学習を進めていきます。										
【到達目標】										
ハングル文字のしくみを説明できる。 ハングルの特徴でもあるパッチム(終声)をきれいに発音できる。 自由に文章を組み立て、会話に活かすことができる。 韓国の生活文化に直接ふれてみるができる。										
【授業方法・計画】										
毎時間オリジナルのプリントを使います。 下記の文法学習と同時にシンプルで短いフレーズの会話も練習します。 スケジュールは変更することがあります。										
第1回	前期授業の流れを説明 ハングルのしくみを理解する									
第2回	前回の復習 子音の紹介 (発音練習のための替え歌JAZZ「LOVE」～第8回まで)									
第3回	前回の復習 母音の紹介									
第4回	前回の復習 間違いやすい子音と母音									
第5回	前回の復習 子音、母音を組み合わせた反切表									
第6回	前回の復習 反切表から濁音現象を理解する									
第7回	前回の復習 ハングルのパッチム(終声)の文字と発音									
第8回	前回の復習 パッチム(終声)の復習									
第9回	映像を通してこれまでの会話の聞き取り練習									
第10回	お手軽韓国料理をつくりましょう									
第11回	韓国の民族楽器にふれてみましょう									
第12回	前期の総復習									
第13回	総復習テストと発音チェック小テストの準備									
第14回	まとめと発音チェック小テスト									
【準備学習・復習】										
毎日少しずつでよいので反切表、パッチムの表をみながら文字を読む練習をしましょう。オリジナルのプリントをノートに写し書きする方法も良いでしょう(毎日30分)。										
【課題に対するフィードバックの方法】										
提出された課題にはコメントを付して返します。										
【受講上のアドバイスおよび注意事項】										
日頃からTV、新聞、インターネットなどで韓国のことが取り上げられていたら積極的に見るようにし、韓国と日本の生活文化の違いなどに興味を持つようにしましょう。韓国語の最初の一步でつまづかないように少しでも疑問があれば授業終了後でも質問するように心がけましょう。配付プリントはひとりで学習するときの手引きとなる内容です。必ずファイルに保管しましょう。										
成績評価方法	授業取組姿勢、時間ごとの会話復習、各課題の提出、発音チェック小テスト:70% 総復習テスト:30% 7対3の割合で評価します。									
教科書	使いません。プリントを配付します。									
参考書	授業中に紹介します。									
CB0119	授業に関連する実務経験				なし					